



ズットナー
1843～1914

平和と水の聖地を目指して 世界の水の偉人 周藤彌兵衛翁



1650～1752

56歳から42年間岩山を削り続け、97歳で完成。102歳で大往生

漫画・治水の偉人伝 周藤彌兵衛



著者 **小室孝太郎**

1943年宮城県生まれ

20歳で虫プロダクションに入社

手塚治虫氏の下でチーフアシスタントを務め

24歳で独立

週刊少年ジャンプにSF漫画でデビュー

代表作

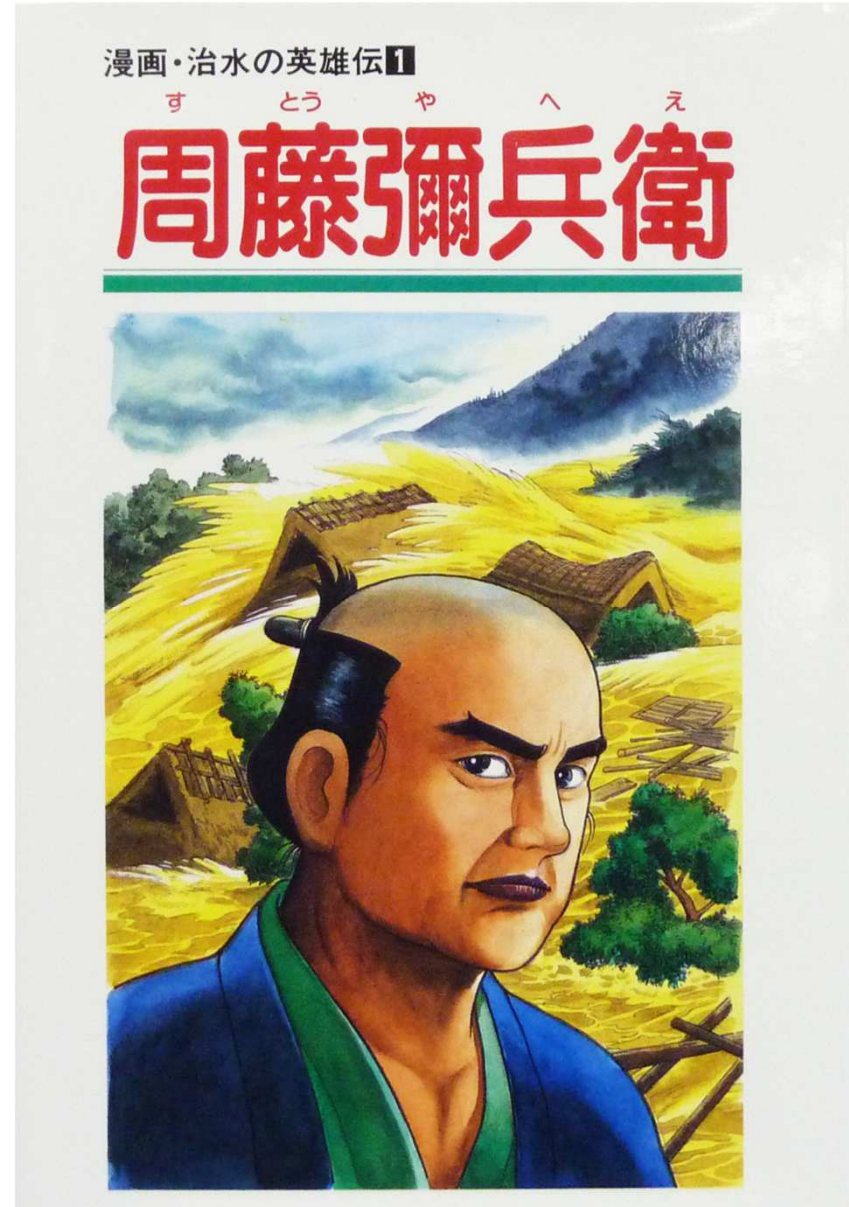
「ワースト」「ミステリオス」

「トワイライトゾーン」「闇の戦士」「空海」

羽須美村の国内初の「漫画村史」

「出雲神話(スサノオ・オオクニヌシ)」

「弁慶」「清原太兵衛」など



漫画・治水の偉人伝 周藤彌兵衛



著者 小室孝太郎

1943年宮城県生まれ

20歳で虫プロダクションに入社

手塚治虫氏の下でチーフアシスタントを務め

24歳で独立

週刊少年ジャンプにSF漫画でデビュー

代表作

「ワースト」「ミステリオス」

「トワイライトゾーン」「闇の戦士」「空海」

羽須美村の国内初の「漫画村史」

「出雲神話(スサノオ・オオクニヌシ)」

「弁慶」「清原太兵衛」など



漫画・治水の偉人伝 周藤彌兵衛



著者 **小室孝太郎**

1943年宮城県生まれ

20歳で虫プロダクションに入社

手塚治虫氏の下でチーフアシスタントを務め

24歳で独立

週刊少年ジャンプにSF漫画でデビュー

代表作

「ワースト」「ミステリオス」

「トワイライトゾーン」「闇の戦士」「空海」

羽須美村の国内初の「漫画村史」

「出雲神話(スサノオ・オオクニヌシ)」

「弁慶」「清原太兵衛」など



漫画・治水の偉人伝 周藤彌兵衛



著者 **小室孝太郎**

1943年宮城県生まれ

20歳で虫プロダクションに入社

手塚治虫氏の下でチーフアシスタントを務め

24歳で独立

週刊少年ジャンプにSF漫画でデビュー

代表作

「ワースト」「ミステリオス」

「トワイライトゾーン」「闇の戦士」「空海」

羽須美村の国内初の「漫画村史」

「出雲神話(スサノオ・オオクニヌシ)」

「弁慶」「清原太兵衛」など



漫画・治水の偉人伝 周藤彌兵衛

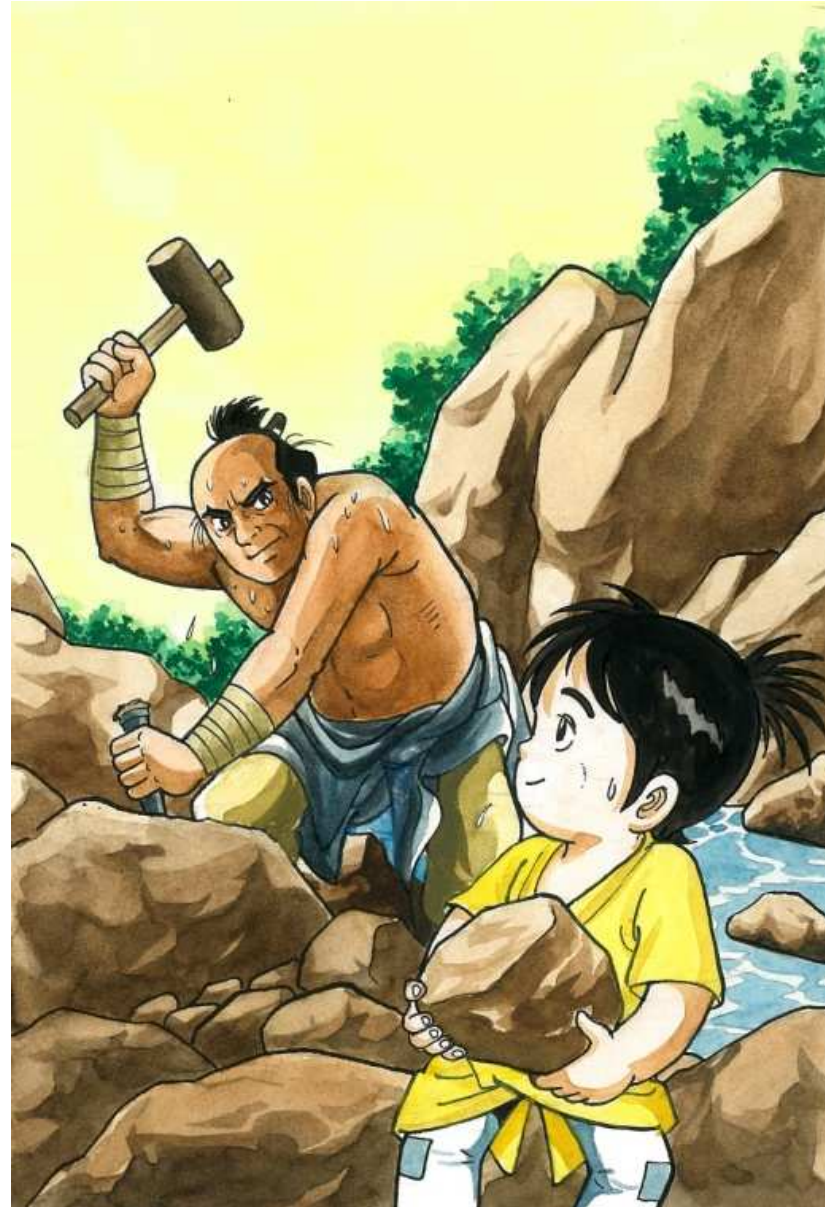


著者 小室孝太郎

1943年宮城県生まれ。
20歳で虫プロダクションに入社。
手塚治虫氏の下でチーフアシスタントを務め
24歳で独立。
週刊少年ジャンプにSF漫画でデビュー

代表作

「ワースト」「ミステリオス」
「トワイライトゾーン」「闇の戦士」「空海」
羽須美村の国内初の「漫画村史」
「出雲神話(スサノオ・オオクニヌシ)」
「弁慶」「清原太兵衛」など



平和の偉人ベルタ・フォン・ズットナー

Ein Leben für den Frieden

平和のために捧げた生涯



Bertha v. Suttner



Medieninhaber und Herausgeber:
© 2005 Österreichisches Gesellschafts- und Wirtschaftsmuseum,
Wien, <http://www.wirtschaftsmuseum.at>
Hergestellt im Auftrag des Bundesministeriums für auswärtige
Angelegenheiten, Wien, <http://www.bmae.gv.at>
Inhaltliche Konzeption: Georg Hamann
Hersteller: Paul Gerin Druckerei, Wolkersdorf
ISBN: 3-902353-26-7

発行:
© 2005, オーストリア社会経済博物館, ウィーン
<http://www.wirtschaftsmuseum.at>
委託: 遠藤外務省, ウィーン
<http://www.bmae.gv.at>
編集: グオルク・ハーマン
印刷: Paul Gerin Druckerei, Wolkersdorf
ISBN: 3-902353-26-7

ベルタ・フォン・ズットナー

(女性初のノーベル平和賞受賞者)

1843年～ 1914年

オーストリア生まれ

ノーベルの秘書、女性作家、ジャーナリスト

小説『武器を捨てよ!』はベストセラーに
第一次世界大戦前夜、目覚ましい航空技
術の進歩により文明の破滅に至る可能性
を警告

ヨーロッパを中心に世界の平和運動の
先頭に立った

1905年、ノーベル平和賞受賞

平和の偉人ベルタ・フォン・ズットナー



ズットナー伝記の日本語翻訳と
漫画・児童文学の出版を計画中

沖縄でズットナー展の開催と
ズットナー記念館開設を構想中



著者:ベルタ・フォン・ズットナー

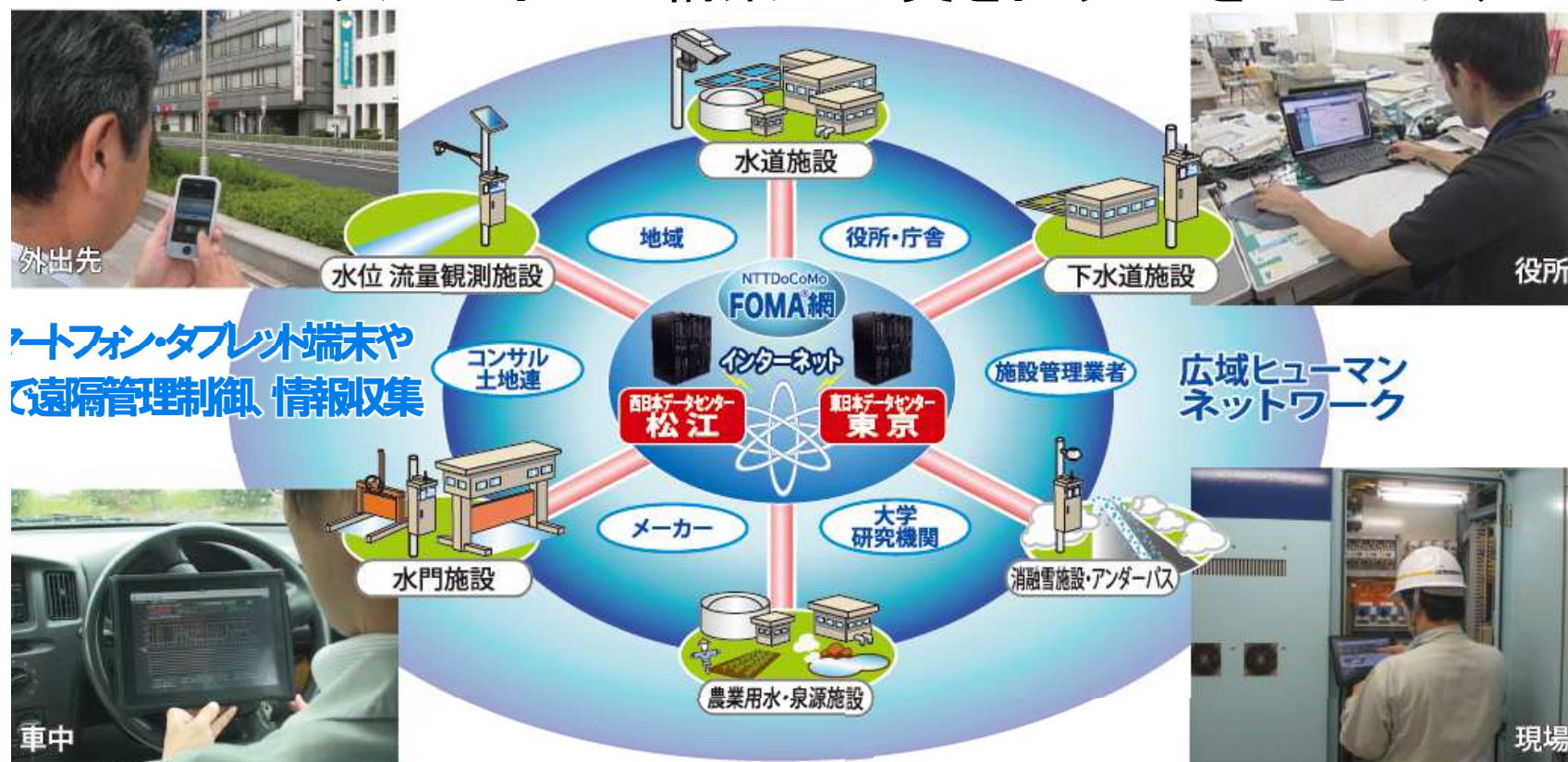
翻訳者:ズットナー研究会 発行所:新日本出版社

周藤弥兵衛翁の偉業にちなんで命名

クラウド&Rubyから生まれた やくも水神

yakumo
Suishin

水は平和の源。私たちは、偉大な先人に学び、世界恒久平和のプラットフォーム構築の一翼を担うことをめざします



2000年発売以来 **293** 自治体 **6300** 施設で採用 2012年 10月現在

日本一の中国庭園「燕趙園」に 孔子・孟子・孫子像建立 西王母と八仙人像建立支援



中国山東省棗莊・台児荘は**米国**から最新兵器を提供された国民党(**台湾**)と中国共産党(**中国**)の国共合作の地で、**日本**の陸軍松江63連隊(島根・鳥取県出身者で構成)が交戦し、双方に大きな被害をもたらした場所。

日本一の中国庭園「燕趙園」に 孔子・孟子・孫子像建立 西王母と八仙人像建立支援



当研究所は、2003年、この地で孔子、孟子、治水の偉人・周藤弥兵衛翁、清原太兵衛翁の4体の銅像を製作。山東省政府の絶大なる支援により中国側3000名、日本側40名の参加者のもと、日本への銅像出発式が挙行された。孫子像は当研究所の活動が賛同を受け、山東省東營市から贈られたものを建立した。

自己実現から自己超越実現へ

真の“終活”^{*} プロジェクト構想



*終活とは「人生の終わりのための活動」の略であり、人間が人生の最期を迎えるにあたってすべきことを総括したことを意味する言葉。主な事柄としては生前のうちに自身のための葬儀や墓などの準備や、残された者が自身の財産の相続を円滑に進められるための計画を立てておくことが挙げられる。

(出典: フリー百科事典Wikipedia)

竹島・女性群像と朝鮮半島と日本列島の使命

竹島を「和の文化圏」発祥の地に！



地球共生・縁結びの像(1998年発表)

3大核大国の結節点から和の時代が始まる

朝鮮半島と 日本列島の使命

わざわい
禍転じて福となすシナリオ
出雲から陽が昇る！

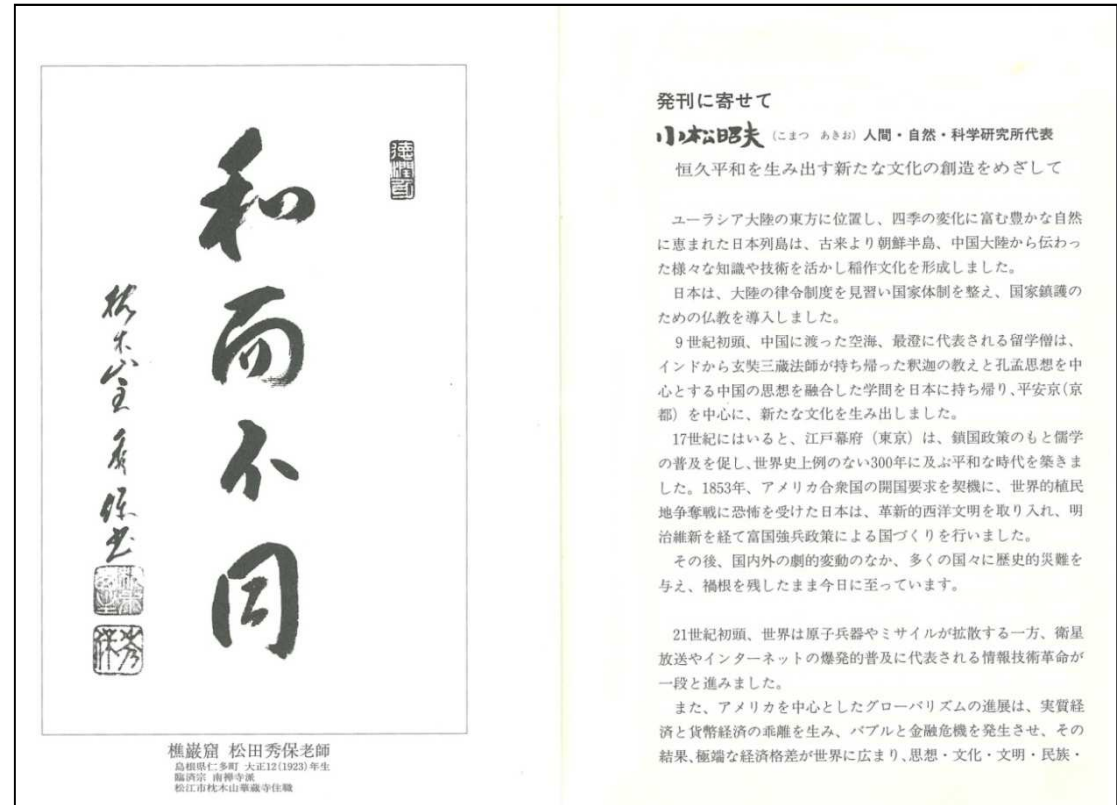
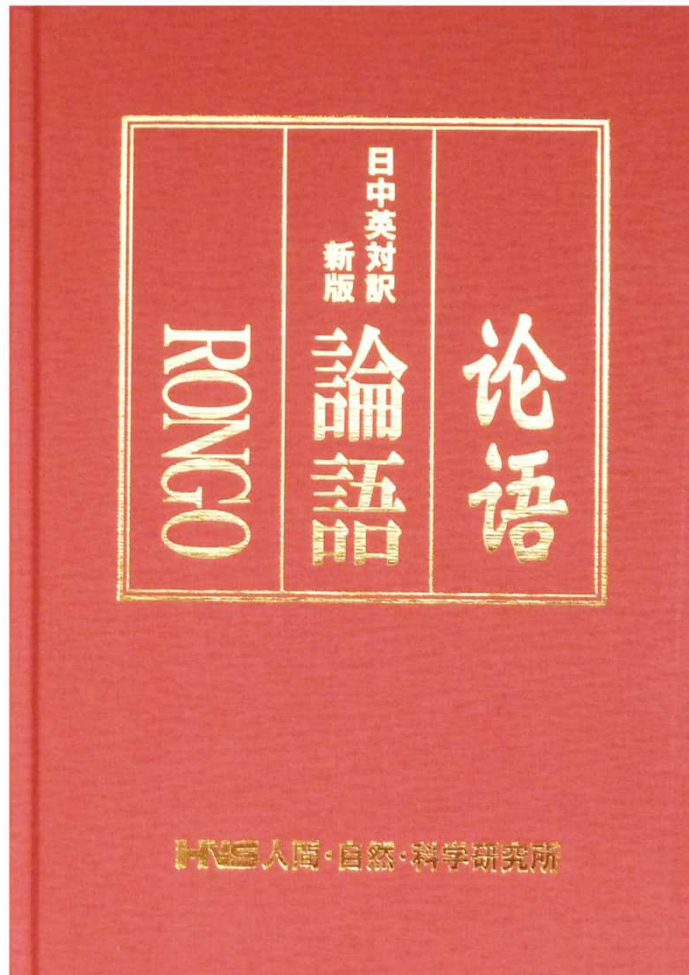
島根県の「竹島の日」制定が、
従軍慰安婦・明成皇后事件へと拡大、
日本滅亡への扉を開いた。

中露米の3大核大国に囲まれた
日本・韓国・朝鮮が世界の命運を握っている！

竹島独島問題が北方領土・尖閣諸島問題に連鎖、
死者32万人の「南海トラフ」巨大地震の被害想定も重なり、
東アジア情勢は一触即発の危機に瀕している。
導火線に火がつけば、中国、露国、米国を巻き込んだ

人類史上例のない深刻な局面に！！

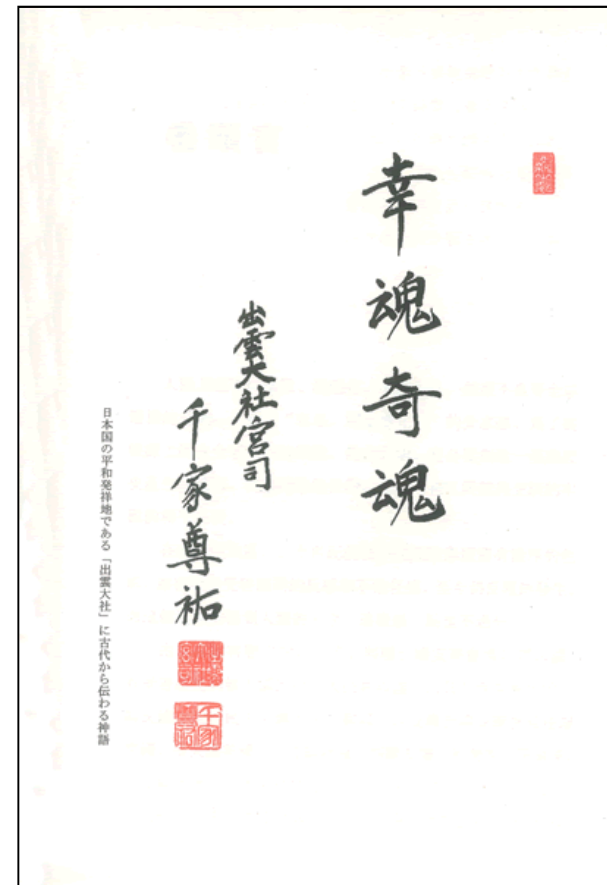
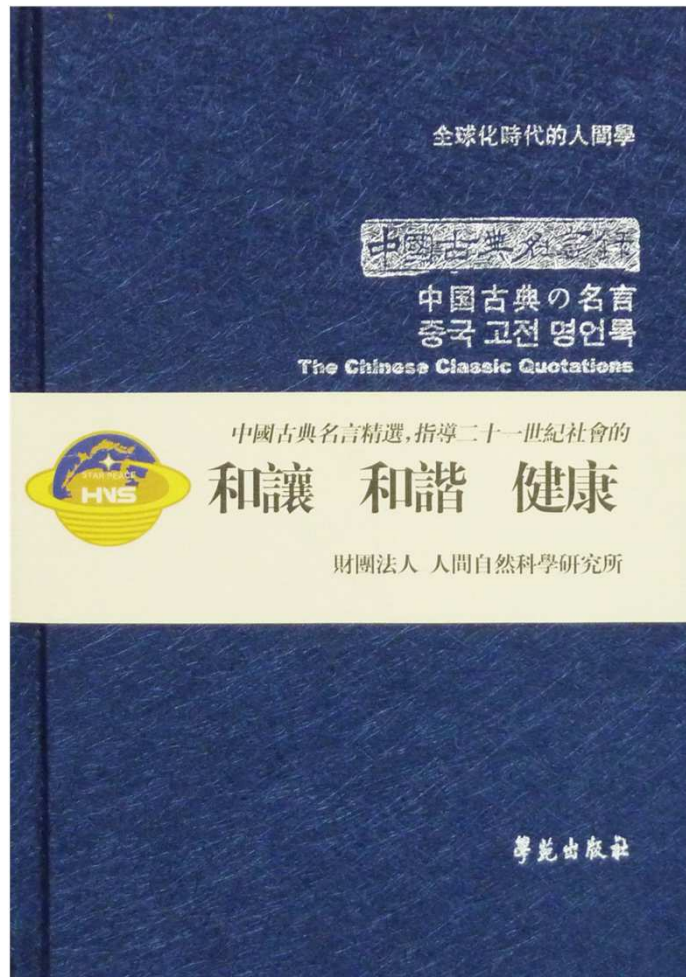
日中英対訳 3カ国論語 出版 (2002年)



「和而不同」

島根県松江市枕木山華蔵寺 松田秀保老師 書

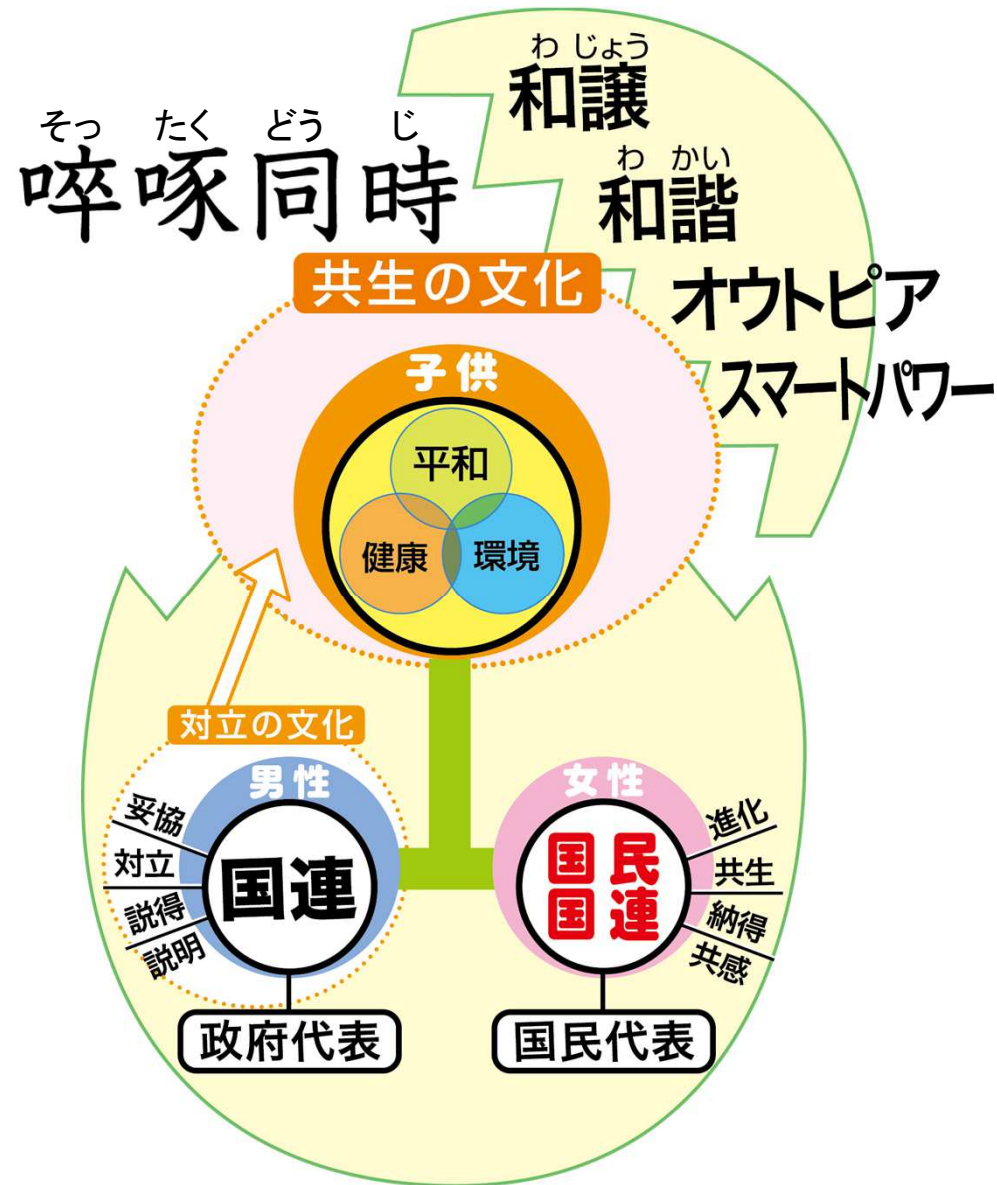
中国古典名言録 出版(2008年)



扉: 出雲大社の神語
出雲大社千家尊祐宮司 書

◇北京オリンピックの開催年に合わせ、4年の歳月をかけて、日中韓英の四カ国語で、グローバル時代の人間学「中国古典名言録」を、中国で編纂した。

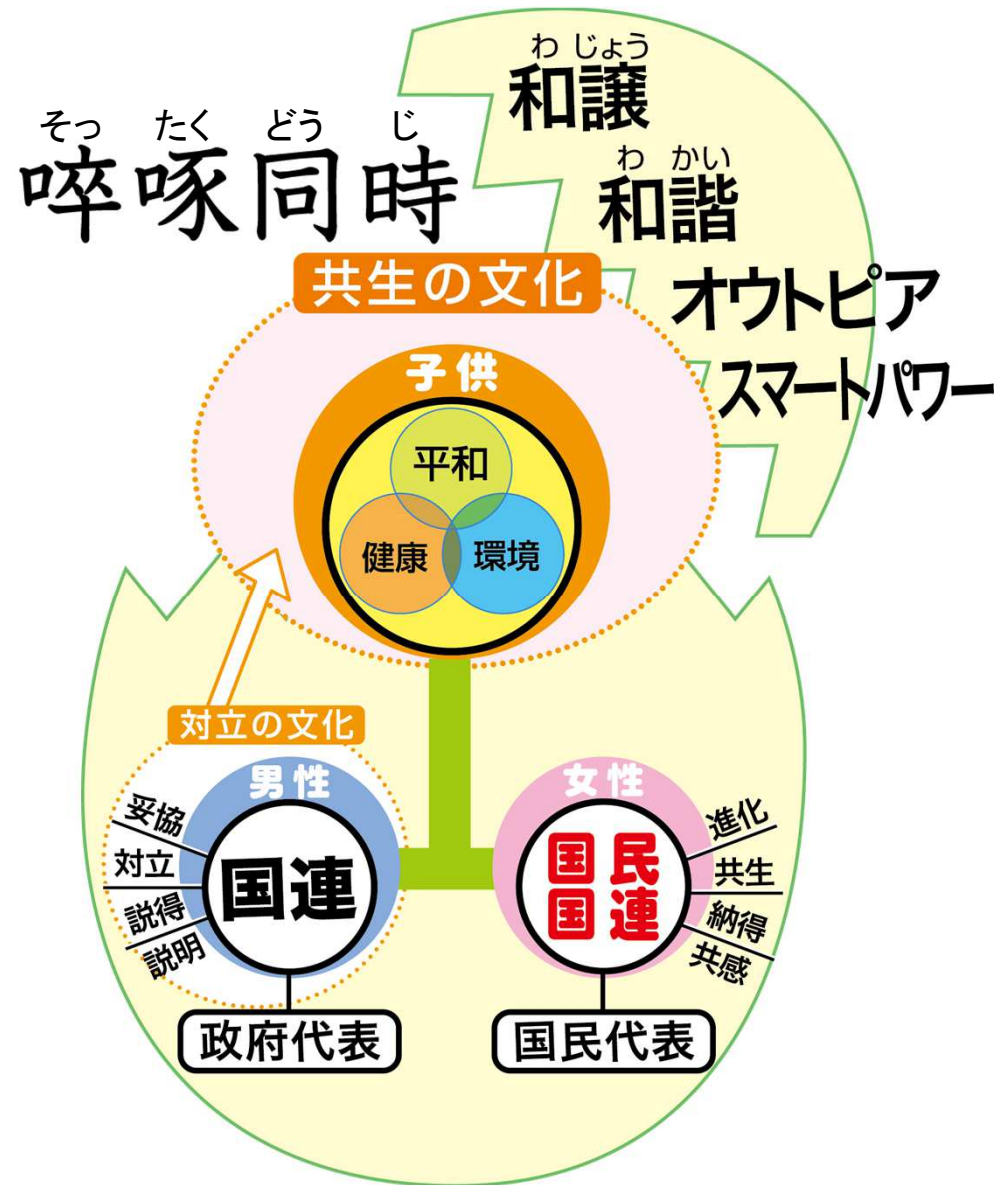
2008年北京で発表 国民国連構想



現代平和学を用い、国民の立場を生かし、
対等で論理的に議論することを条件に言
論の自由を保証、止揚（アウフヘーベン）を
促す場

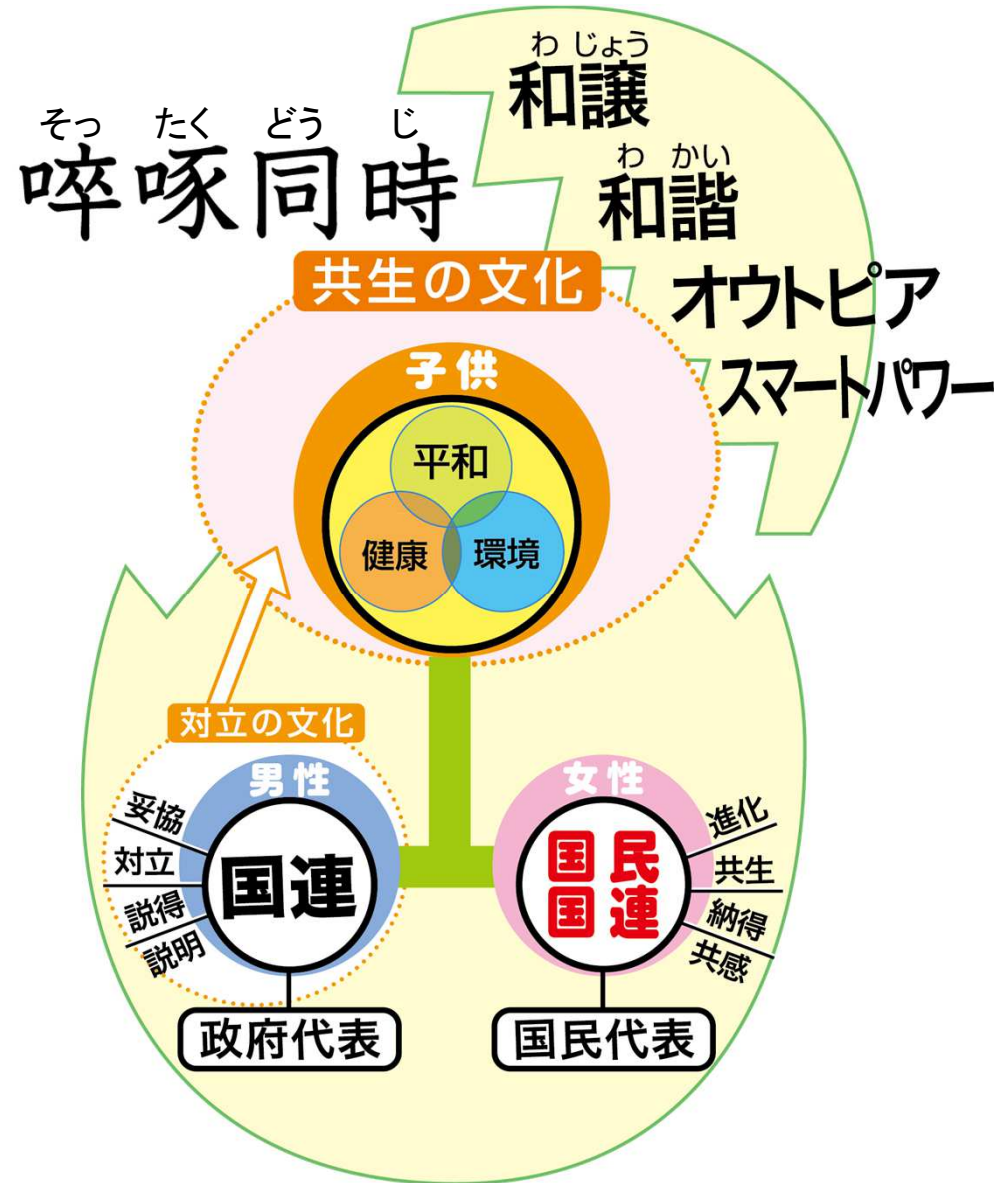
2008年北京で発表 国民国連構想

第二次世界大戦戦勝国の五力国を常任理事国とし世界平和と加盟国の持続的国益を確保する為の調整の場



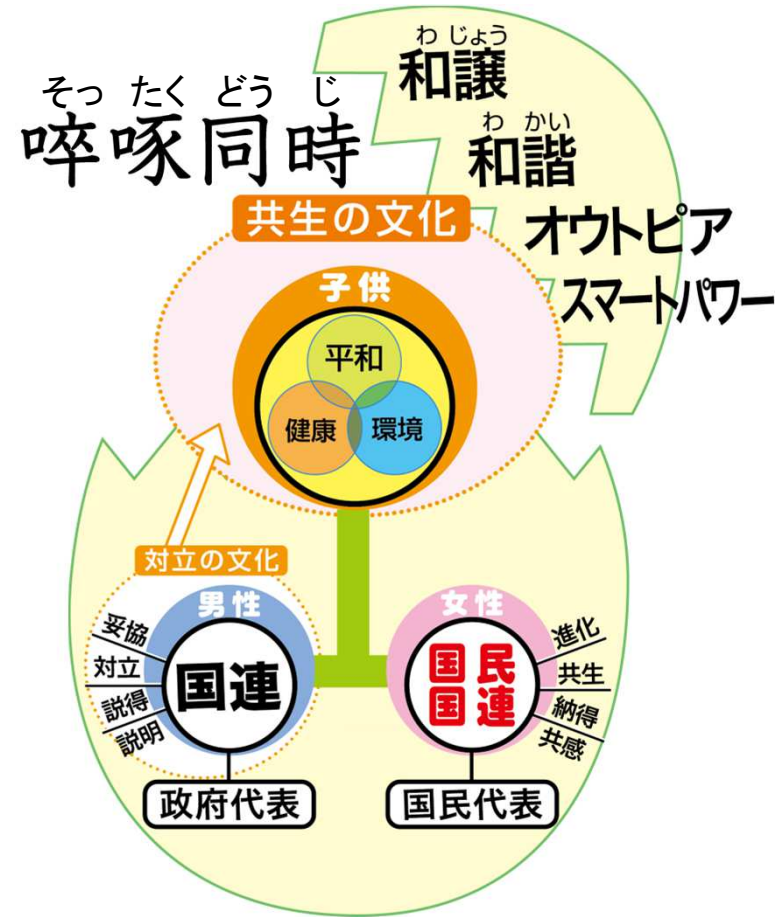
2008年北京で発表 国民国連構想

第二次世界大戦戦勝国の五力国を常任理事国とし世界平和と加盟国の持続的国益を確保する為の調整の場



現代平和学を用い、国民の立場を生かし、対等で論理的に議論することを条件に言論の自由を保証、止揚（アウフヘーベン）を促す場

2008年北京で発表 国民国連構想



◇国民国連

現在の国連は193カ国の「政府代表」で構成され、常任理事国を含む大国主導で運営されているのに対し、現実を直視し、歴史的経緯をふまえつつ、論理的かつ自由な討論を通じて、持続可能な国家を構築する知を生み出すための「国民代表」で構成される国際集団組織。

田内千鶴子生誕100周年記念



◇田内千鶴子：高知県出身で戦前に韓国に嫁ぎ、夫婦で木浦共生園を拓き、朝鮮戦争の激戦の中で生まれた3000人の孤児を育て上げた

田内千鶴子生誕100周年記念



故・田内千鶴子氏の生誕100周年を記念して、2012年10月に木浦で開かれた市長主催の晚餐会には、高知県から尾崎正直知事、岡崎誠也高知市長、県議、市議など300人が参加。

田内千鶴子生誕100周年記念



田内氏の子息、田内基氏の縁で、高知県知事・高知市長と挨拶
を交わす小松理事長

国連「世界孤児の日」 制定推進に協賛しています

ひと

「世界孤児の日」制定を呼びかける

たうち もとい
田内 基 さん(70)



幼いころは母を恨んでいた。

「韓国孤児のオモニ」と言われる母・田内千鶴子が韓国で運営する孤児院「木浦共生園」で、孤児300人以上と一緒に育った。「自分の子が見えないのか」と思った。しかも、出自は日本。学校でいじめられた。

朝鮮総督府の役人の娘だった母は、反対を押し切って園を開く韓国人男性と結婚。朝鮮戦争の混乱で夫が行方不明になった後も園を守り、約3千人の孤児を育てた。

その母の、今年生誕100年。日韓が協力して「世界孤児の日」制定を国連に働きかける推進大会を、母の誕生日であり、命日でもある31日に木浦市で開く。1母の死後、園を引き継いだ。

982年に生活拠点を日本に移し、在日コリアン向け特別養護老人ホームを大阪、神戸、京都で開く。

日本国籍だが、長く暮らした韓国での名・尹基を名乗る。二つの祖国の間には今、竹島や慰安婦の問題が横たわる。推進大会への日本からの参加辞退も相次ぐ。

敗戦直後、攻めてきた村人に、共生園の子どもたちは「日本人だけど、お母さんだ」と母をかばった。44年前、木浦市民3万人は初の市民葬を開いて母の死を悼んだ。あなたはなぜ、そんなに韓国人から尊敬されたのですか――。

「国と民族は違っても真実は通じる」。そう言った母の言葉を胸に、逆風の中を前に進む。

文 大久保真紀 写真・高橋一徳

国連「世界孤児の日」 制定推進に協賛しています



2012年10月31日 木浦共生園にて撮影

(左:人間自然科学研究所 小松昭夫 理事長、右:共生福祉財団 田内基 名誉会長)

高知県での田内千鶴子生誕100周年 記念事業のご案内

田内千鶴子生誕100周年記念講演会

『田内千鶴子の生涯の意味するもの』

- 講師: 山崎 朋子氏(女性史研究家・ノンフィクション作家)
- 日時: 平成24年11月9日(金曜日)午後3時30分から5時まで
- 会場: 高知県民文化ホール(グリーンホール)
- 入場: 無料(整理券が必要です)

サランコンサート

- 出演: 第1部 丁讃宇(ジョン・チャヌ)/ピアノ 武田香奈子
第2部 田月仙(チョン・ウォルソン)声楽/ピアノ 朝岡真木子
- 日時: 平成24年11月9日(金曜日)
開場: 午後6時 開演: 午後6時30分
- 会場: 高知県民文化ホール(オレンジホール)
- 入場: 1,300円(前売1,000円)全席自由



財団法人 人間自然科学研究所